

事業番号	264
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市営駐車場施設管理事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	都市政策課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	政策推進係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		22 市街地整備		4 安全・安心な市街地を整備する				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	4	目	3	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	駐車場法、道路法、道路整備特別措置法									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市営駐車場4箇所の使用料収納、設備機器の保守管理・修繕等を行い、施設の利便性の向上や路上駐車 of 未然防止を行う。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ラピオ地下駐車場、小牧駅西駐車場、浦田駐車場、小牧駅地下駐車場 ラピオ地下駐車場、小牧駅西駐車場、浦田駐車場、小牧駅地下駐車場について、効率的に運営するためラピオを管理している小牧都市開発㈱に管理委託をした。 設備機器修繕を行った。 駐車券及び回数券の在庫管理を行い、必要に応じ印刷を行った。 <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料等(114千円)、印刷製本費(4,566千円)、修繕料(222千円) 管理委託料(120,214千円)、備品購入費(945千円)、ラピオ設備修繕負担金(10,686千円) <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料等(114千円)、印刷製本費(5,895千円)、修繕料(859千円) 管理委託料(123,215千円)、ラピオ設備修繕負担金(18,821千円) 									
	受益者負担	有 30分100円、24時間最大1,000円、ただし、最初の30分は無料。 24年度の駐車場使用料収入総額116,317千円(減免分を含まない)									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	141,952	132,466	136,747	148,904	
		正職員	従事者数	人	0.70	0.70	0.50	0.50
			人件費	千円	3,731	3,731	2,665	2,665
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	145,683	136,197	139,412	151,569		
対前年比	%			93.4	102.3	108.7		
財源	一般財源	千円	33,974	26,824	23,095	45,837		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	111,709	109,373	116,317	105,732		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	収容(能力)台数	台	目標	845	845	845
実績				845	845	845	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
年間駐車場利用台数 ※H22から駅地下を算入	千台	目標	992	970	941	938	
		実績	970	941	938		
路上駐車台数 (年4回、1時間調査の平均)	台	目標	18	17	17	16	
		実績	17	17	16		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果		
	事業の達成状況	景気低迷の影響等により成果指標である年間駐車場利用台数は減少傾向である。維持管理上の不具合は発生していない。	
	事業実施における課題	施設のPR、利用サービスの向上などを行い、駐車場の利用促進を図る必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	ラピオ商業施設の集客力が低下する。 中心市街地における路上駐車台数が増加する。	
平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	施設を効率的に運営していくため、24年度から、ラピオ地下駐車場、小牧駅西駐車場、浦田駐車場、小牧駅地下駐車場を一括して小牧都市開発(株)に管理委託した。さらに効率的に駐車場を管理運営できるように、小牧都市開発(株)と協議を行う。	
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	施設の利便性の向上や路上駐車未防止のため、継続的に事業を行っていく必要があるため。	
	26年度以降の改善案	旧ピーチライナー駅舎の取扱方針やA街区開発内容を注視し、必要な対策を検討するとともに、小牧駅地下駐車場については、エレベーター等バリアフリー化改修実施を検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。